

戦時下最大の言論弾圧といわれる「横浜事件」。

その「首謀者」とされた政治学者・細川嘉六（かろく）の不屈の抵抗と憂国の軌跡が片山潜・河上肇らとの交友や、妻への愛情に満ちた獄中からの手紙によって、鮮やかに語りつくされる。

ときに「河童」のように暗黒の時代を自在に生き抜いたその生涯は、近代日本の抵抗の歴史そのものである。

# 河童自伝

細川嘉六  
生いたちの記・  
「放談」・  
獄中書簡



●編・解説 荻野富士夫・西村 央

●協力 細川嘉六ふるさと研究会

細川嘉六 略歴



ほそかわ・かろく（一八八八—一九六二）

政治学者・ジャーナリスト。富山県生まれ。東京帝国大学を経て大原社会問題研究所に入り、米騒動、植民地問題研究に労作を残す。一九四二年、雑誌『改造』掲載の論文「世界史の動向と日本」が陸軍報道部から弾圧を受け、戦時下最大の言論弾圧事件「横浜事件」の発端となる。好んで河童の絵を描き「河童老人」と称された。

## 日本近代の抵抗の歴史を知る必読の書

細川嘉六のことは、横浜事件をはじめ米騒動の研究や労農党への関わり等で知っていたが、本書で語られる彼の人生は、さながら日本近代無産階級運動史そのものである。国粹主義から出発し、小野塚喜平次との出会い、森戸事件、大原社研、モスクワでの片山潜との日々、満鉄調査部、尾崎秀実との交友等々が、近代史家として知られる服部之総を主たる聞き手として如実に語られる。終始一貫権力に抗してきた細川の思想形成を知る上で、「生いたちの記」「青春の記」も興味深い。「よそ者」を守る「俠気（おしげ）の強い父」と、その父の死後子どもたちを学校に行かせるために「敢然として」働く母、その気質を受け継ぎ、自ら途を切り開きながら邁進してきた反骨精神はみごとというほかない。あわせて、社会主義思想、治安維持法研究等で知られる荻野富士夫氏による行き届いた「解説」も理解を助ける。一個人の歩みにとどまらない日本近代の抵抗の歴史を知る上に必読の書である。

おすすめ 黒川みどり

（くろかわ・みどり 静岡大学名誉教授）

2024年  
5月刊行!

電子書籍版も同時刊行!

詳細は弊社HP電子書籍の案内ページをご覧ください

A5判・並製・336ページ  
定価 2,200円+税（税込2,420円）  
ISBN978-4-86617-242-2

序 西村 央

## 第一部 自伝

### 第一章 生いたちの記

私の生いたち  
小学校のころ  
父と母から承けたもの  
東京へ

小野塚喜平次先生  
一高時代

### 第二章 青春の記

読書と人生

ふるさとの人びと

高等学校時代

淡雪の恋／大逆事件への反応

大学時代

政治学史を学ぶ／ゼミ生・友人／母と弟たち

### 第三章

住友・読売から東大経済学部・大原社会問題研究所へ

住友時代

入社事情／夜の修行／住友辞職のてんまつ／二人の女性を助ける／米騒動の体験

読売時代

読売新聞入社の際／外交部記者／読売騒動で辞める／市川正一のこと

東大経済学部時代

クロボトキン事件／いかにしてマルキストになったか

大原社会問題研究所時代

大原社会問題研究所に入る／アナ・ボル論争を見る／河上肇先生／『大原社会問題研究所雑誌』への執筆／所内で煙たがられる／結婚／長谷川如是閑評／叩き潰せないもの

大原社会問題研究所に入る／アナ・ボル論争を見る／河上肇先生／『大原社会問題研究所雑誌』への執筆／所内で煙たがられる／結婚／長谷川如是閑評／叩き潰せないもの

### 第四章 外遊

ベルリンからパリ、ロンドン、モスクワへ  
途上の見聞／社会民主党・共産党の演説会／パリを歩く／ロンドンを歩く／ベルリンに戻る  
片山潜の思い出

モスクワに着く／片山潜との出会い／モスクワでの見聞／スターリンについて／西尾末広のこと／片山潜との別れ／コミニストとして

### 第五章 時代と社会に抗して

社会運動の激流のなかへ

大原社研での研究——中国革命・米騒動／共産党シンパ事件で検挙される／労働党解散後の新党をめぐる河上肇と櫛田民蔵

帝国主義・民族問題を論じるなかで

大原社研を去る／妻への感謝／倒れた友人、去っていった友人／満鉄囑託として／近衛文麿へ進言／尾崎秀実のこと

横浜事件の虚構と戦う

「世界史の動向と日本」論文を書く／横浜事件の背後にあるもの／事件の予感／事件の深刻さ／獄中でふざける／出獄まで／共産党入党

## 第二部 「妻への便り」細川嘉六書簡

### 第一章 結婚まで

### 第二章 中国から

### 第三章 獄中から

東京拘留所から  
横浜刑務所から

### 第四章 北京・平壤から

解説 荻野富士夫  
年譜



関連図書のご案内

荻野富士夫＝著

シリーズ

## 治安維持法の歴史

|   |                                    |         |
|---|------------------------------------|---------|
| Ⅰ | 治安維持法の「現場」<br>——治安維持法事件はどう裁かれたか    | 二〇二二年五月 |
| Ⅱ | 治安維持法——その成立と「改正」史                  | 二〇二二年一月 |
| Ⅲ | 朝鮮の治安維持法の「現場」<br>——治安維持法事件はどう裁かれたか | 二〇二二年五月 |
| Ⅳ | 朝鮮の治安維持法——運用の通史                    | 二〇二二年一月 |
| Ⅴ | 台湾の治安維持法                           | 二〇二三年五月 |
| Ⅵ | 「満洲国」の治安維持法                        | 二〇二三年一月 |



### 編著者紹介

荻野富士夫（おぎの・ふじお）

1953年埼玉県生まれ。1989年より小樽商科大学勤務、現在同大名誉教授

西村 央（にしむら・ひろし）

1950年北海道生まれ。ジャパン・プレス・サービス代表取締役、ジャーナリスト

## 注文カード

帖合・貴店名

〈八木書店経由〉

注文数

河童自伝  
細川嘉六 生いたちの記・「放談」・獄中書簡  
定価●二、四二〇円（税込）  
ISBN978-4-86617-242-2

発行Ⅱ六花出版

編・解説Ⅱ荻野富士夫・西村央

お名前

お電話番号

注文 年 月 日

●弊社注文制です。お近くの書店へご注文ください。  
お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話03(32963)8787

Fax 03(32963)8788

電子メール info@rika-press.jp